

一、旅客機連続墜落

一八八人死亡

全日空ボウイング727旅客機の遭難から一ヶ月経った三月四日午後八時十四分、濃霧がカナダ太平洋航空のDC・8大型ジェット旅客機を着陸に失敗燃え上がり死者六十四、重軽傷八という大惨事を生んでしまった。

そしてまたも五日午後にはBOAC707機が羽田経由香港に向う途中、富士山ろく二合目やや上部に空中分解のような状態で墜落百二十四名、全員死亡、再びそれで三たび、惨事をくり返してしまったのです。

ジェット機は近代科学技術のシンボルである。高度に発達したメカニズムと人間の能力の限界、そのアンバランスが事故をもたらしたのであろうか、機械への盲信、人間の過信、事故の要因はどこにでもある。

だがますなによりも科学は性能の高度化よりも、安全をまず考えて、先きへ進まなければならぬのではないか。